

補助事業番号 17 - 3

補助事業名 平成17年度機械工業と新化学の技術開発連携課題に関する調査研究補助事業

補助事業者名 社団法人 新化学発展協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

高度部材・基盤産業を下支えしている新化学産業分野において、新技術や新規素材の開発を行い、多様かつ高度化するニーズの対応することにより、産業フロンティアの拡大を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容 <http://www.asprnc.org/06jigyoku/61shingen.html>

新規素材開発調査研究委員会では、ゼオライト、メソポーラス、金属ナノ粒子-高分子複合体、その他の無機材料(Si等)の触媒素材候補、およびそれらの微細加工技術に関する講演会の開催及び先端的研究機関への訪問等により、産業化に向けた情報交換、技術の摺り合わせ連鎖の交流・研究の場とすることができた。今後の新規素材の開発の推進に役立つものと考えられる。MEMS 微細加工技術・材料調査研究委員会では、MEMS 分野からナノテク分野に至るまで大学ならび企業の違った視点から、また、材料を開発する立場ならび材料を使用して製品開発を行う立場からの講演会の開催等により現状の技術レベルの把握、将来展望などに関する有用な知見を得ることができた。今後の新規技術の開発に向けて、産業界にとどまらず、学会、公的研究機関にとっても、学術及び技術の向上に資するものと考えられる。

2. 予想される事業実施効果

研究会の開催により、化学と先端科学との融合による新たな技術の創出や、産業界の将来展望の課題解決等に果たす役割の重要性の認識を深めることに役立つ。また、異業種分野との相互の理解・連携の促進に大いに役立つ。

委託調査により、各研究分野の技術や現状の展開及び将来性について詳細な情報が得られる。また、今後の研究開発に向けた指針が得られる。化学と先端化学との融合による新たな技術の創出や、産業界の将来展望の課題解決等に果たす役割の重要性の認識を深める事に役立つ。異業種分野との相互の理解・連携の促進に大いに役立つ。

3. 本事業により作成した印刷物等 <http://www.asprnc.org/07itaku/71index.html>

- ・平成17年度新規素材開発調査研究委員会 調査委託研究「MEMS分野の研究動向」調査報告書
- ・平成17年度 MEMS微細加工技術・材料調査研究委員会 調査委託研究「環境調和型プロセスを支える触媒技術」調査報告書
- ・平成17年度 新規素材開発調査研究委員会 活動報告書
- ・平成17年度 MEMS微細加工技術・材料調査研究委員会 活動報告書

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名 社団法人新化学発展協会 (シャダンハウジン シンカガクハッテンキョウカイ)

住所 :101-0041

東京都千代田区神田須田町1-12

代表者：会長 中西 宏幸 (ナカニシ ヒロユキ)

担当部署：化学フロンティア事業部

担当者名：山田 雄吉 (ヤマダ ユウキチ) 湊 登美 (ミナトトミ)

電話番号：03-5297-8820

FAX：03-5297-8821

E-mail：asprnc@asprnc.org

URL：http://www.asprnc.org